

栃木の魅力発信の絶好の機会

初心

2017年盛夏号

平成29年7月発行
年2回刊
題字/福田富一 書

〈発行所〉

福田富一
暮らしと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028(633)1111
http://www.tomikazu.com

平成29年『夏だより』

栃木県知事 福田富一

酷暑、ゲリラ豪雨などお見舞い申し上げます。昨秋の知事選挙から早1年を迎えようとしております。粉骨砕身、職責を全うし、県勢発展に努めて参ります。今後ともご指導ご支援を宜しくお願い致します。



全国知事会議

7月26日から28日まで、全国知事会議が盛岡市で開催され、「孤立社会から共生社会へ―地方から日本を変える―」をテーマに、復興や地方創生の実現など議論を行った。東日本大震災後被災地で初めて開催された。私からは防災に関連し、那須雪崩事故の反省を踏まえて、自然災害や大規模な事故について、原因や対応方法等の情報を全国で共有する仕組みの構築について提案した。

国の進める森林環境税(仮称)は、循環型社会の形成に資するため、都道府県と市町村が一体となって進めていくべきことを求めた。

また地方創生に関しては、地方の活力や国際競争力を高めるグローバル人材の育成について、高校生や大学生の留学支援をさらに充実させることを求めた。さらに、社会保障常任委員長として、福祉人材確保のための特別決議をとりまとめた。

余談になるが、全国知事会議のニュースを見て栃木県知事も出ていたと言われることがあるが、東北・関東などブロック別で時計回りに座ることになっており、東京・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川の順になるが、茨城・埼玉両県は副会長のため正面の席になる。東京都知事を中心に栃木も画面に登場する確率が高くなるのかもしれない。

第77回 国民体育大会内定

7月18日、東京都内のホテルにて、国民体育大会内定書を日本体育協会長から受領してきた。(開催5年前の時点で内定書、3年前になって初めて決定書が交付される仕組みになっている)

国体開催は今年も愛媛、来年は福井、そして茨城、鹿児島、三重、栃木となり、2025年に青森、2028年に群馬が予定されている。

国体施設工事本格化

またこの日(7月18日)は、午前中に武道館(柔道・剣道・弓道)の起工式が行われ、一足早く5月29日には、新スタジアムが起工している。

新体育館とプールや県営本球場(野球)も必要な手続きや工事が進んでいる。

国体開催の1年前にはプレ国体が開催されるため、競技施設の整備を終えていなければならぬ。

東京2020年

オリンピック・パラリンピック

3年後(国体は5年後)には、オリンピックが開催されることから、キャンプ地として利用してもらおうべく、新体育館とプールを除き、前倒しで整備を進めることにしている。

来年は栃木県として、聖火リレーの県内ルートの検討も開始することになる。日本オリンピ

ック委員会(JOC)では、各県1日から2日程度、走者100名、1人200km、合計20km。目抜き通り以外は自動車を利用する案が検討されている。来年にはそのガイドラインが早期に開示される予定だ。

キャンプ地誘致

ハンガリーのホスタウンとして国の登録を受け、協議を進めている。首都ブタペストで世界水球選手権2017が先ごろ開催された国である。人口は1千万人弱だが、スポーツが盛んな国である。1昨年の北京世界陸上の際には宇都宮市でキャンプの受け入れ実績がある。

なるべく早く覚書の締結へと進め、その上で受け入れ態勢の整備や、地域の皆さんとの交流などの計画を立てたい。

技能五輪・アビリンピック

DC本番

いよいよ11月には技能五輪(23歳以下の青年・42競技)・障害者の技能大会アビリンピック(15歳以上・22競技)の日本一を決める大会が開催される。

来春には、DC(JR6社が連携して取り組む、国内最大級の観光キャンペーン)本番も迎える。

いずれも成功を収め、栃木の魅力・実力を国内外に示す絶好の機会ととらえ十分に生かしていきたい。皆様方のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

「選ばれるとちぎ」へ

地域の魅力 県全体で発信



来年4〜6月に本県で開催されるJRグループの大型観光企画「本物の出会い栃木ステイネーションキャンペーン(DC)」を前に、6月末まで行われる1年前イベント「プレDC」のオープニングセレモニーが4月8日、宇都宮市江野町のオリオンスクエアで開かれた。

セレモニーで福田知事は「来年のDCを大成功させるべく、期間中に栃木の観光にさらに磨きをかけ、国内外のお客さまに、また来てみたいと思ってもらえるような取り組みを強化する」と力強く宣言。JR東日本の阪本未来子大宮支社長は、プレDC期間中に県内に臨時列車やイベント列車を約70本走らせるとし、「イベント列車など楽しいと思える企画をたくさん用意し

た。地元が磨き上げた栃木の魅力をしっかり伝え、DC本番につなげたい」とアピール。その後、実行委員会メンバーや県内のJR東日本、東武鉄道の駅長や現場責任者らも集合、会場全体でハイタッチをし機運を盛り上げた(上写真)。

全国宣伝販売促進会議

4月18日、宇都宮市のホテルで国内外の旅行会社の担当者約700人を招待し、DC全国宣伝販売促進会議を開催。福田知事は全体会議で「世界遺産の日光の社寺をはじめ、県内には本物の観光資材が数多くある」とあいさつ。花や食、温泉などの各テーマごとに県内の観光関係者らが魅力を伝えた。



福田知事から「県スポーツ功労賞」の賞状とトロフィーを受けた田代選手(中央)と渡辺選手(右)

「Bリーグ初代王者は200万県民の誇り。ブレックスの皆さん、毎試合アリーナを埋め尽くしたイエロー軍団の皆さんのおかげ。感動をありがとう」と偉業をたたえた。

パレード後、オリオンスクエアで行われた報告会で知事特別表彰の県スポーツ功労賞を贈った福田知事は「Bリーグ初代王者は200万県民の誇り。ブレックスの皆さん、毎試合アリーナを埋め尽くしたイエロー軍団の皆さんのおかげ。感動をありがとう」と偉業をたたえた。

までの115キロ。第2ステージは茂木町から那須町の102・3キロ。最終日の第3ステージは矢板市から宇都宮市までの103・5キロで争われた。県内全域の公道をコースとした本格的なラインレース。県内の主要観光地を結び、自転車先進県としての取り組みをアピールした。

好成績を収めた宇都宮ブリッツェンの清水監督や選手らが10日、大会名誉会長を務めた福田知事を表敬訪問、「コースは変化に富んでいてロードレースの醍醐味があり、走りやすく良い大会だった」と感謝を述べた。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていただきます。

栃木の観光 さらに磨きを

プレDCスタート



覚書締結の調印式に臨む福田知事(左)と陳市長(17日午前)

台湾高雄市と覚書締結

福田富一知事は2月15日、五月女県議会議員や北村県商工会議所連合会会長をはじめとする県経済団体関係者らとともに台湾を訪れ、「栃木県と高雄市との経済や教育分野における友好協力に関する覚書」を締結するとともに、日本台湾交流協会や亜東関係協会など関係機関を訪問。交流促進や観光誘客、本県産品の輸入規制解除や販路開拓などについて意見交換を行った。

覚書の調印式は17日、高雄市政府鳳山行政センターで行われ、福田知事は「観光、経済、教育などの分野で高雄市民、栃木県民が主体となった交流が推進されるよう尽力したい」とあいさつ。陳市長も「栃木県と高雄市は産業面で共通点が多く、航空宇宙、精密機械などの分野で連携を深めるとともに、教育・文化・スポーツなどでも活発な交流を進めていきたい」と述べた。

福田知事ら訪米し 本県の魅力を紹介

福田知事や小林県議会議長ら本県訪米団は6月18日、ワシントンDCに到着し、全米最大規模の対米投資促進イベント「セレクトUSA」に参加した。福田知事はインディアナ州のブリスを訪れ、インディアナ州の経済開発公社のカイ・チャック担当課長やクロフォードビル市の市長らと意見交換した。日本や韓国、台湾からの参加者を対象にしたレセプションにも出席し、アメリカ国務省の担当者や韓国、台湾の企業と経済交流について話し合った。

20日には、佐々江賢一郎駐米大使の公邸でロス米商務長官と面会した。インディアナ州では22日、1月に就任したエリック・ホルコム州知事

らと会談し、今後の経済交流について意見交換を行ったほか、昨年の同州建州200年への祝意を伝えた。インディアナ州米協会主催の年次晩さん会で基調講演を行い、同協会から「ブリッジ・オブ・フレンドシップ・アワード(友好の懸け橋賞)」が授与された。晩さん会は現地の企業代表者やコミュニティのリーダーが一堂に集う地域最大級のイベントで、今回は600人が参加。福田知事は本県の立地概要や産業、農産物などを紹介した上で、「来日した際はぜひ本県に来てもらい、観光や食を楽しんで下さい」と呼び掛けた。

本県初の同州進出企業などを訪問し、一行は24日午後帰国した。



インディアナ州米協会主催の年次晩さん会で基調講演し、本県の魅力をPRする福田知事(22日)

ブレックスに県スポーツ功労賞

ツール・ド・とちぎ初開催

プロバスケットボールBリーグ初代王者に輝いた栃木ブレックスの優勝記念パレードが6月3日、県庁と宇都宮市役所を結ぶシンボルロード約1キロで行われ、ファンら3万人が県都に凱旋した選手らを祝福した。

パレード後、オリオンスクエアで行われた報告会で知事特別表彰の県スポーツ功労賞を贈った福田知事は「Bリーグ初代王者は200万県民の誇り。ブレックスの皆さん、毎試合アリーナを埋め尽くしたイエロー軍団の皆さんのおかげ。感動をありがとう」と偉業をたたえた。

3月31日から4月2日の3日間で県内18市町320キロを走破する初開催の自転車ロードレース「ツール・とちぎ」が、国内外14チーム81人が出場して開催された。

第1ステージは日光市から足利市までの115キロ。第2ステージは茂木町から那須町の102・3キロ。最終日の第3ステージは矢板市から宇都宮市までの103・5キロで争われた。県内全域の公道をコースとした本格的なラインレース。県内の主要観光地を結び、自転車先進県としての取り組みをアピールした。

好成績を収めた宇都宮ブリッツェンの清水監督や選手らが10日、大会名誉会長を務めた福田知事を表敬訪問、「コースは変化に富んでいてロードレースの醍醐味があり、走りやすく良い大会だった」と感謝を述べた。

社会保障制度でけん制

全国知事会議

4月14日、全国知事会議が東京都内で開かれ、任期満了に伴う会長選で京都府の山田啓二知事の4選が決



全国知事会社会保障常任委員長として経過を報告する福田知事=14日午後

まった。会長の任期は2年。

福田知事は、知事会の社会保障常任委員長として政府の社会保障制度改革の動きについて報告した。この中で、政府が2019年10月に予定している消費税率10%への引き上げを前提に都道府県が主体となる国民健康保険への財政支援を拡充しようとしていることをけん制し、「消費税率の引き上げにかかわらず、政府は責任を持って実行するようもめていく」と述べた。

交付税抑制論にくぎ

関東地方知事会議

10都県で構成する関東地方知事会議(会長・大沢正明群馬県知事)が

5月24日、都内で開かれ、国への施策や予算に関する要望・提案など12項目を決めた。

12項目のうち10都県共同提案の地方分権改革の推進では、地方の基金増加傾向を受けて政府が地方交付税の配分抑制を検討していることについて、「短期的な積立金の増減による安易な歳出削減の議論は行わないこと」とくぎを刺した。

福田知事は野生鳥獣被害防止対策への支援などを求めて了承された。

「補助金は要望に対し6割程度」と述べ、被害の拡大に補助金が追いつかず十分な対策が実施できない状況から、補助金の増額や情報通信技術などを活用した安価で利用しやすい技術の構築を求めた。



4月21日 東武日光駅で新型特急リバイティ出発式。「栃木ブランドの魅力発信の絶好の機会、県全体の活性化につなげたい」と福田知事(左)

東奔西走の日々

- ◇1月4日 幹部職員に年頭訓示「地方創生と地域経済の活性化に全力で取り組む。先頭に立ってほしい」
- ◇1月14日「とちぎ結婚支援センター」開所/結婚への出会いを県が創出。
- ◇1月18日 都内で船村徹さんの文化勲章を祝う会/「これからも国民の応援歌を作り続けて下さい」と祝辞を贈る。
- ◇1月21日 三越日本橋本店「日本橋いちごパーク」で県産いちご摘み取りPR。
- ◇2月3日 池袋のサンシャインシティで「第66回関東東海花の展覧会」開幕/開場式で主催者代表挨拶。
- ◇2月23日 都内で船村徹さん告別式/知事が弔辞で「栃木を愛していた」と別れを惜しむ。
- ◇2月26日 小川湯津上バイパス開通/「より一層、観光交流や地域振興に大きく寄与していくと期待する」
- ◇3月18日 JR上野駅でPレDCキャラ
- ◇1月4日 ペーパンのキックオフセレモニー/「本物がたくさんある栃木にぜひお越しを」と呼び掛ける。
- ◇3月31日 自転車ロードレース「ツール・ド・とちぎ」開幕
- ◇4月3日 県庁で新採用職員に訓示/「人が喜ぶ姿思い仕事して」
- ◇4月20日 春の園遊会出席
- ◇4月21日 東武日光駅で新型特急リバイティ出発式(上記写真)
- ◇5月15日 関西栃木県人会出席/「ふるさと栃木の応援団に感謝」
- ◇5月29日 総合スポーツゾーン新スタジアム起工式/「本県選手が活躍する素晴らしいスタジアムを期待」
- ◇6月5日 独協医大で講義/「常に力出し切って」と知事
- ◇6月17日 神宮球場でヤクルト戦本県冠試合/オープニングイベントに参加し栃木の魅力を発信する。
- ◇6月28日 塩谷町で鹿沼・日光・塩谷地区ブロック別市町村長会議/行政課題や取り組みについて意見交換。

知事と地域の課題を探る

「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラムin益子」

福田知事と県民が県政の課題などを話し合う「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラムin益子」が6月10日、益子町益子の町中央公民館で町民ら71人が参加して開かれた。

福田知事が県政運営について説明した後、事前アンケートで関心の高かった医療福祉、環境のテーマを中心に意見を交わした。

介護従事者が不足しているとの指摘には、「参入促進、資質向上、離職防止、処遇の改善で人材確保に努めている。本年度から事業所の人材育成、人材の定着に向けた県独自の認証評価制度を導入してやる気が高



とちぎ元気フォーラムで県政運営について説明する福田知事=10日午後

数々の曲から生きる針路

「船村徹氏を偲ぶ会」に1500人参加

2月に84歳で亡くなった塩谷町出身の作曲家、船村徹さんを追悼し、県民挙げて功績をたたえる「船村徹氏を偲ぶ会」が6月13日、宇都宮市の県総合文化センターで開かれ、遺

族や関係者、ファンら約1500人が参加した。

船村さんは1932年6月12日、船生町(現塩谷町)に生まれ、旧制今市中(現今市高)を経て、東洋音楽学校(現東京音楽大)に入学。55年発売の「別れの一本杉」がヒットし、その後も「王将」「矢切の渡し」など数多くのヒット曲を生み出した。95年には紫綬褒章を受章。2014年には名誉県民となり、昨秋に文化勲章を受章した。

偲ぶ会は県が主催。挨拶に立った福田知事は「数々の曲から生きる針路と元気をもらった。作曲活動以外でも『山の日』提唱などの活動に尽力された」と功績をたたえた。

遺族や関係者ら参加者が順に献花したあと、門下生の歌手が船村さんが作曲した歌を披露した。



船村徹さんを偲び、追悼の言葉を述べる福田知事=13日午後

晴れやかな装いの皆様と

ゆりの会新年会

2月26日、恒例の『ゆりの会新年会』が、ホテル東日本宇都宮を会場に300名の晴



れやかな装いの皆様をお迎えして開催された。

公務のため福田知事不在で開会したが、来賓の船田元先生や高橋克法先生、佐藤栄一市長に盛り上げていただいた。乾杯後の余興では、フラダンス愛好会の皆様(上記写真)が、ウアノホアウアクパッ

『ヒイラベ』白いブランコ』の3曲をご披露下さり、華やかなドレスを身に纏った愛好会の皆様の優美なフラダンスに、会場全体が柔らかなで優しい雰囲気になりました。

1時間半遅れで知事が到着すると、会場から一斉に拍手が起き、ほっとした雰囲気になりました。その後もテーブルごとに知事と夫人を囲んでの

陽くんと紘子さん結婚

福田知事の二男で後援会事務所勤務の陽(あきら)は、両家を代表して謝辞を述べる知事



写真撮影や抽選会などをお楽しみいただき、終始和やかなうちに繰り広げられた。

かねてより交際していた市村紘子さんと4月29日、紘子さんの29歳の誕生日に婚姻届を提出。5月21日午後、多くの皆様にご出席をいただき宇都宮市内で結婚式を挙げた。ハレのこの日の知事は普段とは違い、一人の父親として、少し緊張気味で感慨深い様子が印象的であった。

『福田家の茶の間』

5月21日の陽と紘子の結婚式にはお忙しいところお越し頂き誠にありがとうございます。夫には「物がいっぱいあるね」と言われる。夫には年明け早々、2階の息子2人の物置と化している部屋を何とかしてこれと言われた。壁を取り払ってオープンで使いたいとのこと。3月のお彼岸過ぎまで待つて！5月の結婚式が終わるまで待つて！と延ばしに延ばして、7月にやっと工事が始まった。必要と思われる荷物は持ち出したが、残り



は不用品回収業者に出した。工事が終わり広々とした部屋を見た時、何か余分なものがそぎ落とされたようなくさりした気持ちになった。残した荷物も今度はもっと思いつつ捨てられそうである。

爽やかな晴天のもと

戦場ヶ原 小田代ヶ原 ハイキング

6月11日(日)、爽やかな晴天のもと、100名の参加者は大型バス3台に分乗し、

1号車の皆さんと



2号車の皆さんと



3号車の皆さんと



日光の戦場ヶ原・小田代ヶ原ハイキングに出発した。

奥日光湯元駐車場をバスを降り、湯の湖から出発。アツプダウンがほとんどない湖畔を半周し、湯滝を経て湯川沿いに、ゆるやかな下りと平坦

な道を進み、小滝を通り、泉門池で昼食。その後、戦場ヶ原と小田代ヶ原の二つのコースに別れて目的地の赤沼茶屋を目指した。

小田代ヶ原のコースでは、木道をしばらく歩くと視界が開け、眩しい日差しの中で白樺の『貴婦人』が堂々と美しい姿を現し、感動を呼び起こしながら私たちの目を存分に楽しませてくれた。

万緑豊かな美しい自然に囲まれたハイキングであったが、集合時間に30分以上も遅れてしまい、先に到着した皆様をお待たせしてしまいました。ご迷惑をお掛け致しました。懲りずに、来年のご参加をお待ちしております。

2017年 下半期の行事予定

知事と語る会

日時：11月頃
場所：未定

※日時・場所等、決まり次第お知らせ致します。

もちつき大会

日時：12月3日(日)
：11時～13時
場所：今宮1丁目公園
会費：大人300円
：子供100円

ゆりの会新年会 (女性のみ)

日時：2018年2月18日(日)
：11時～14時
場所：ホテル東日本
会費：5,000円



文化講演会のお知らせ



講師：杉山美沙子 さん
(元プロテニスプレイヤー杉山愛さんのお母様)
演題：『人の可能性を伸ばす10の黄金法則』
日時：9月12日(火)
午後6時30分 開会
場所：宇都宮グランドホテル
入場料：1,000円
※チケットご希望の方は事務所までご連絡下さい。

夫は結婚が決まった当初は、「皆さんに迷惑をかけるから」と、若い2人で相談しながら思うような結婚式を挙げれば良いと考えていたが、ほどなく私たちが夫婦が長年お世話になってきた皆様に『息子が結婚することになりました』とお披露目する場でもあると考えると、人数に限りがあるため1部の

編集後記

福田事務所に8年間勤務してくれました福田祥子さんが家庭の事情で3月末日をもって退職しました。後を引き継いだ綾香も一生懸命頑張っていますが、慣れで行き届かないところが多々あるかと思いますが、陽、紘子と協力して事務所を盛り立てて参りますので、これまで同様変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

◆福田富一 後援会総連合会事務所
◆福田富一 暮しと政治研究所
宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(6333)1111
FAX 028(6333)1110